

部 会 報 告

ISO/TC 127/SC 3/WG 13(ISO 6750 土工機械—取扱説明書—内容及び様式) 2018 年 1 月 ロンドン国際作業グループ会議報告

標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会国際専門家 (Expert) 木谷 利夫 (コマツ)

国際標準化機構 ISO の専門委員会 TC 127 (土工機械) 傘下の国際作業グループ ISO/TC 127/SC 3/WG 13 (ISO 6750 土工機械—取扱説明書—内容及び様式改正) 作業グループ会議が 2018 年 1 月に英国ロンドン市で開催され、協会標準部会 ISO/TC 127 土工機械委員会から国際専門家 (Expert) として出席した木谷利夫氏の報告を紹介する。

- 1 開催日：2018 年 1 月 29 日～30 日
- 2 開催地：英国 ロンドン 英国規格協会 (British Standard Institution, BSI) 会議室
- 3 出席者：11 名
スウェーデン (SIS) 3 名
米国 (ANSI) 4 名
英国 (BSI) 1 名
フランス (AFNOR) 1 名
日本 (JISC) 2 名

4 概要

先に実施された CD 投票 (2017 年 7 月締切) において各国から寄せられた意見、及び Editing Group の検討結果を織り込んだ Doc N 56 (2017 年 12 月に回付) について専門家で討議し、更に今後の進め方、スケジュールを検討した。

5 主な審議内容

Doc N56 のコメント 252 件について WG 13 で討議し、その結果を取り纏めた (Doc N 62)。

- ・参照 ISO を Normatively references から Bibliography へ移項する提案については、ISO 作成ルールに従い、当該規格が本文中の Requirement に引用されていないことを確認してから移項することとした。(コメント JP 009, 010, 011, 012 他多数)
- ・Danger zone に換えて、Hazard zone を使用する提案については、両者共 ISO 12100 に定義されている

ことから、Definition より削除することとした。(米国では Hazard zone が使用されているが、欧州及び日本では Danger zone が使用されていることを確認した。コメント US 054, 055, 090, UK 111)

- ・Spare parts と Replacement parts のいずれが優先か議論され、より上位の概念として”Parts”を統一用語と考える。(コメント US 070, 081, 082)
- ・取説の翻訳時には ISO17100:2015; Translation Service 相当に従うとする。(コメント US 102) (ISO 17100 or equivalent requirements)

6 今後のスケジュール

前回の会合で改正作業を通常の 36 ヶ月トラックから 48 ヶ月トラックに変更した為、現在の DIS 登録期限は 2018 年 4 月末となっている (自動キャンセル期限: 2018 年 10 月末)。CD 投票で提出された全てのコメントを検討した上で、2018 年後半に DIS 投票を開始できるよう案文を修正する。

- ・テクニカルレポート ISO/TR 6750-2 を発行するため、次のステップとして、8-10-12weeks DTR 投票を実施する。
- ・最新の案文 Doc N 49 をベースに、DTR 投票を開始することを決定した。
- ・ISO 6750-1, ISO/TR 6750-2 が発行された後も、ISO/TR 6750-2 を維持するため、WG 13 を継続する。

参考資料

- N 51：改訂案文
- N 60：今回の WG 決議
- N 61：今回の WG 議事録
- N 62：今回の WG コメント結果

以上